

令和2年度 荏田地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

第4期地域福祉保健計画の策定年度となっており、荏田地区、新荏田地区ともに、推進会議を中心に策定に取り掛かっている。  
 両地区において、推進会議がその場の会議だけで終わるのではなく、各地区で具体的な取組に繋がるように、区・区社協・ケアプラザが一体となって、調整を進めたい。  
 ケアプラザに寄せられる相談については、ケースが重度化してからの相談も多いため、早期に相談していただけるよう、地域の身近な相談窓口として周知されるよう、民生委員や地区社協等を連携しながら、早期発見早期対応を目指したい。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
	■	■ 多世代が交流できる居場所「みんなの”荏田”ひろば」を立ち上げる
■	□	消費者被害を未然に防ぐため、地域行事やケアプラザ自主事業内で啓発活動を行う
□	■	地域や関係機関等から、信頼される職員を目指し、単位町内会毎に5職種で地区担当制を行うことで、より地域との関わりを密にし、地域との連携や信頼関係の構築を進める。
□	■	地区別地域福祉保健計画を、ケアプラザ、区役所、区社協と連携し、地域の思いに寄り添いながら推進する
□	■	身近な場所で健康づくりや介護予防に取り組める

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

多くの事業がコロナウイルス感染拡大の影響により、休止に追い込まれた状況がありました。その中で、できることは何かを検討し、感染予防に留意した、サロンや配食活動、元気作りステーション等の再開に向けての話し合いを重ね、一部再開ができています。自主事業再開時に、被害の多い消費者被害について傾向と予防策について、周知を行いました。また、見守りグループの活動支援を継続し、更に新たに立ち上がったグループの活動支援を行いました。子育て支援として、エリア内にとどまらず近隣区関係機関との連携を行い、お散歩マップの作成と周知を行いました。感染予防の観点から、地域との交流の場が限られましたが、小さな情報でも地区支援記録を残し、毎月、5職種で共有、支援方針の検討をし、情報を共有することで、次年度の活動に繋げられるようにしています。  
 新規事業「みんなの”荏田”ひろば」(仮称)については、3月のプレオープンに向けて、地域の皆様と準備を重ねています。

## □ 区からのコメント

・「みんなの荏田ひろば」は、様々な住民が集まれる場として多世代や多様性の関わりがもてるとても良い取組だと思えます。地域の方も巻き込みながら、新しい荏田CPエリアの活動として期待しています。活動をすすめる中で、是非色々なアイデアを実現していきましょう。

・高齢者に限らず子育てや障害、困窮担当などの支援機関と積極的に連携を図り、ケアプラザの相談支援機能の周知に努められています。引き続き、さまざまな対象の相談を受けとめ支援につないでいただきたいと考えます。

・5職種で連携して地域づくりを行う土壌ができており、地区別計画をはじめ自主事業等も必要な情報は随時ケアプラザ内で共有・検討されていると思います。次年度以降も専門職の垣根を越えて相談しやすい雰囲気の中地域づくりを推進してください。

・日頃の細かな情報を記録に残し、共有することで課題が見えてきます。職種を横断して又は協働で対応することが出来ると思います。自治会とのやり取り等も今までの関係性が土台となっていると思いますので、新しい形を探りながら今後も継続してください。

・地域特性の異なる地域の状況に合わせた丁寧な地域福祉保健計画の推進を期待しています。区職員とは、必要な情報を適時共有し、連携して個別支援や地域支援に取り組まれています。

「見守りグループ」の活動について、地域の方の声を上手に聞き取り、実際の活動に繋がった素敵な取り組みだと思えます。今まで通り地域に寄り添いながら、支援継続をお願いします。

・様々な活動が休止する中、地域ケアプラザから感染症対策などできる工夫をして講座を実践し、また休止した活動再開を後押ししたことは地域の方々の自信とケアプラザへの信頼につながったと考えます。引き続ききめ細やかな支援をお願いいたします。

・介護予防講座・元気づくりSTIは、緊急事態宣言でより、地域とのつながりや運動・栄養の大切さを地域住民の方も身をもって感じていたと思えます。参加されている方が、より熱心に取り組み、一緒にできることの良さを実感されていたように感じました。また、こんな今だからこそ、日頃、自宅でできることを継続していきたいとの意気込みを感じました。様々なことを想定しながら開催できてとてもよかったですと思えます。

# 令和2年度荏田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	地域包括支援センターに、CMの紹介を希望された場合には、ハートページ等を活用し、複数の事業所から選択できるように努めます。 居宅介護支援事業所では、「事業所選択確認書」を使用し、サービス導入時に利用者に複数のサービス事業所から選択できるように努めます。	法人内及び市区内の事故情報を職員会議、各部門会議で共有し、事故防止に努めます。個人情報漏洩事故の防止策として、FAXでの個人情報送信は禁止します。個人情報を扱う作業を行う場合には、作業に適した環境で行います。 ヒヤリハット、コンプライアンスミーティングを実施し、未然に事故を防止します。
実績	地域包括支援センターでの相談対応の際に居宅支援事業所の紹介希望の際には、ハートページ等の事業所一覧を用い、相談者自身が事業所選択ができるようにしました。また、居宅介護支援事業所では、サービス導入時に複数の事業所情報を提供し、選択ができるようにしました。	事故防止に繋がるよう、定期的にコンプライアンスミーティングを実施し、会議毎にそれまでに出たヒヤリハットの共有や振り返りを実施しました。個人情報を取り扱う作業時には、作業に適した環境で行いました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	プランの中に給付以外のインフォーマルサービスや地域活動などを組み込み、地域の特性を活かし、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援を実施します。	利用者・ご家族の利用者全体の思いに寄り添い、医療福祉に関する関係機関のみならず、地域の皆様と協力して在宅生活を支援します。
職員体制	【常勤兼務】3名 【非常勤専従】1名	【常勤兼務】1名 【非常勤専従】3名
契約者数	128名	146名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の可能性を大切に、自立支援・自己選択・中重度化防止を意識し、ご利用者やご家族のニーズに寄り添ったサービスを提供します。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 10:15～15:20 【定員】 30名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	800円(おやつ代66円を含む)		
職員体制	管理者1名(常勤兼務)、生活相談員6名(常勤兼務3名、非常勤兼務3名)、看護職員6名(非常勤兼務)、介護職員12名(常勤兼務3名、非常勤兼務10名、機能訓練指導員6名(非常勤兼務6名))		
契約者数等	【延べ利用者数】 5535名 【契約者数】 60名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「荏田CP」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,387,338		19,387,338	28,669,344	△ 9,282,006	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	8,600	91,400	
雑入	8,400	0	8,400		8,400	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	8,400		8,400		8,400	
その他			0		0	
その他	1,977,500		1,977,500		1,977,500	
収入合計	21,473,238	0	21,473,238	28,677,944	△ 7,204,706	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,200,840	0	13,200,840	19,824,002	△ 6,623,162	
本俸	12,223,000			17,621,086		
社会保険料	977,840			713,730		
手当計				1,467,644		
健康診断費				2,056		
勤労者福祉共済掛金				6,751		
退職給付引当金繰入額				12,116		
その他			0	619	△ 619	
事務費	1,801,400	0	1,801,400	1,547,889	253,511	
旅費	18,000		18,000	6,162	11,838	
消耗品費	600,000		600,000	282,586	317,414	
会議随費			0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	300,000		300,000	304,907	△ 4,907	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0		0	
備品購入費	500,000		500,000	83,001	416,999	
図書購入費	50,000		50,000	38,268	11,732	
施設賠償責任保険	8,000		8,000	7,533	467	
職員等研修費	20,000		20,000	3,092	16,908	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	100,000		100,000	79,743	20,257	
手数料	20,000		20,000	220	19,780	
地域協力費			0	0	0	
その他	125,400		125,400	742,377	△ 616,977	
事業費	578,600	0	578,600	66,386	512,214	
運営協議会経費	42,000		42,000	567	41,433	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	536,600		536,600	65,819	470,781	
その他			0		0	
管理費	3,332,498	0	3,332,498	3,295,994	36,504	
光熱水費	1,694,818		1,694,818	1,794,324	△ 99,506	電気・ガス・水道
清掃費	609,140		609,140	609,140	0	アメニティシステム
機械警備費	97,096		97,096	97,096	0	ALSOK
設備保全費	631,444	0	631,444	795,434	△ 163,990	
空調衛生設備保守	21,024		21,024	21,204	△ 180	ハマメンテ
消防設備保守	20,971		20,971	20,971	0	協和メンテナンス
電気設備保守	41,064		41,064	41,064	0	ハマメンテ
害虫駆除清掃保守	28,320		28,320	28,320	0	有害生物防除協同組合
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	520,065		520,065	683,875	△ 163,810	EV、草刈り、総合巡視点検、複合機保守、ボイラー保守
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000	306,580	167,420	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	2,085,900		2,085,900		2,085,900	
支出合計	21,473,238	0	21,473,238	25,040,851	△ 3,567,613	
差引	0	0	0	3,637,093	△ 3,637,093	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	8,600	91,400
自主事業費 支出	536,600	0	536,600	65,819	470,781
自主事業 収支	△ 436,600	0	△ 436,600	△ 57,219	△ 379,381

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	8,400	0	8,400	0	8,400	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	8,400	0	8,400	0	8,400	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「荏田CP」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,547,075		23,547,075	19,495,098	4,051,977	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	133,150	20,850	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,823,947	△ 28,947	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	4,000		4,000	0	4,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	8000		1,401,000	13,500	1,387,500	
雑入	12,000	0	12,000	0	12,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他	12,000		12,000	0	12,000	実習生受け入れ
その他	1,401,000		1,401,000		1,401,000	
収入合計	30,921,075	0	30,921,075	25,465,695	5,455,380	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,209,000	0	27,209,000	23,194,151	4,014,849	(包括)21,729,000 (生活支援)5,480,000
本俸	14,000,000		14,000,000	12,848,625	1,151,375	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	1,713,799	1,286,201	
手当計	6,480,000		6,480,000	7,391,480	△ 911,480	
健康診断費	50,000		50,000	29,648	20,352	
勤労者福祉共済掛金			0	23,249	△ 23,249	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,679,000		3,679,000	1,183,494	2,495,506	
その他			0	3,856	△ 3,856	
事務費	1,541,300	0	1,541,300	644,188	897,112	
旅費			0	13,565	△ 13,565	
消耗品費	1,436,300		1,436,300	67,395	1,368,905	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	5,000		5,000	270,432	△ 265,432	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	0	100,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	2,002	△ 2,002	
職員等研修費			0	7,430	△ 7,430	
振込手数料			0	0	0	
リース料			0	21,195	△ 21,195	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	262,169	△ 262,169	
事業費	1,201,000	0	1,201,000	521,365	679,635	(包括)732,000 (生活支援)315,000 (介予)154,000
協力医	630,000		630,000	315,000	315,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	105,000		105,000	0	105,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	133,150	17,850	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	73,215	241,785	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	774,409	0	774,409	876,141	△ 101,732	
光熱水費	420,000		420,000	476,971	△ 56,971	電気・ガス・水道
清掃費	161,923		161,923	161,923	0	アメリシステム
機械警備費	25,810		25,810	25,810	0	ALSOK
設備保全費	166,676	0	166,676	211,437	△ 44,761	
空調衛生設備保守	5,636		5,636	5,636	0	ハマメンテ
消防設備保守	5,574		5,574	5,574	0	協和メンテナンス
電気設備保守	10,915		10,915	10,915	0	ハマメンテ
害虫駆除清掃保守	7,528		7,528	7,528	0	有害生物防除協同組合
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	137,023		137,023	181,784	△ 44,761	EV、草刈り、総合巡視点検、複合機保守、ボイラー保守
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	81,492	44,508	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	69,366		69,366		69,366	
支出合計	30,921,075	0	30,921,075	25,317,337	5,603,738	
差引	0	0	0	148,358	△ 148,358	

自主事業費 収入	12,000	0	12,000	13,500	△ 1,500	
自主事業費 支出	571,000	0	571,000	206,365	364,635	
自主事業 収支	△ 559,000	0	△ 559,000	△ 192,865	△ 366,135	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 荏田地域ケアプラザ

2年4月1日～ 3年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援 (第1号介護予防支援含む)			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入				7,314	7,196	118	20,937	20,834	103	64,030	54,151	9,879				0
	その他				0	0	0	0	0	0	25	518	-518				0
	事業・負担金収入						0			0			0				0
							0			0			0				0
							0			0			0				0
							0			0			0				0
	その他						0			0	25	518	-518				0
	<b>収入合計(A)</b>				7,314	7,196	118	20,937	20,834	103	64,055	54,669	9,386				0
支出	人件費				3,047	2,779	268	14,838	11,702	3,136	44,414	47,892	-3,478				0
	事務費				8	5	3	67	63	4	440	248	192				0
	事業費				23	91	-68	546	542	4	17,718	18,710	-992				0
	管理費						0			0			0				0
	その他				2,488	2,009	479	24	0	24	347	282	65				0
	利用者負担軽減額						0			0		96	-96				0
	消費税						0			0			0				0
	介護予防プラン委託料				2,488	2,009	479			0			0				0
							0			0			0				0
							0			0			0				0
	その他						0	24		24	347	186	161				0
	<b>支出合計(B)</b>				5,566	4,884	682	15,475	12,307	3,168	62,919	67,132	-4,213				0
	<b>収支 (A) - (B)</b>	0	0	0	1,748	2,312	-564	5,462	8,527	-3,065	1,136	-12,463	13,599	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	荏田地区協議体「エンジョイ荏田塾たけのこクラブ」定例会	H29	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	生活支援体制整備事業における協議体の位置づけであり、地域課題の共有、解決への検討を目的とする	5：地域		毎月第3土曜日にメンバーが集まり、地域の課題へ現状の共有、解決への検討を行う。誰でも随時参加可能とする。	9	94
2	歴史講座と笑いの交流サロン	H29	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	地域の歴史愛好家が集まり、参加者同士が横の繋がりを作ることを目的とする	5：地域		毎月第2土曜日に開催する。前半は講師による講話、後半は茶話会を行う。講座の企画はNo1で行う。	3	63
3	荏田お困り事ネットワーク	H29	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	企業・商店・医療機関等による困り事を抱えた高齢者等の発見、見守り、相談期間へ繋ぐことを目的とする	1：高齢者	7：その他	ネットワーク登録企業等や地域貢献に関心のある企業等が参加し、前半は研修、後半は地域課題に取組む話し合いを行う	0	0
4	荏田クリーンアップ作戦	R2	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	江田周辺のゴミ拾いをして、若い世代が地域に出るきっかけづくりを行うことを目的とする	4：子ども・青少年	5：地域	R13月に企画していたが延期となる。江田駅からケアプラザまでゴミ拾いをし、その後、交流会を行う。	0	0
5	テイク10	R2	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	口腔・栄養・運動の講話と実践を通し、介護予防の重要性を伝えることを目的とする	1：高齢者	5：地域	講師による口腔・栄養・運動の講話を実践。2か月間の中で5回開催し、講座の間は宿題がある。	0	0
6	青魚de認知症予防	R2	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症予防の期待の高い青魚を用い、簡単調理を学び、栄養改善に関心を持ってもらうことを目的とする	1：高齢者	5：地域	講師による月1回の講座を3か月間実施。栄養の講話と調理体験、試食を通した参加者同士の交流を行う。	0	0
7	運動で仲間づくり！ウォーキング実践講座	R2	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ウォーキングや体操を通して、若い世代にも関心を持ってもらうことを目的とする。講座終了後、自主サークル化を目指す。	5：地域	1：高齢者	講師による3か月で5回の講座を開催し、遠方への散策も行う。また、初回から自主サークル化の話を進めていく。	0	0
8	介護者のつどい	H22	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護をしている方、介護OBの方が気持ちを楽にする場の設定を目的とする。また、今後のために介護について学ぶ場とする。	5：地域	1：高齢者	四半期毎に1回開催。講師による講話の後、参加者同士の交流場を設定する。	2	18
9	私らしく豊かな人生を迎えるために「エンディングノート」講座	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	エンディングノートに関連のある、「人生会議」「お金」「葬儀・墓」を学び、ノートを書くきっかけにしてもらうことを目的とする。	1：高齢者	5：地域	3週に亘り開催。各テーマ毎に講師による講話を行う。第2回では個別相談会も開催。	0	0
10	包括カンファレンス	H22	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	ケアマネジャーに必要と思われる情報を提供することを目的とする。	6：事業者	7：その他	奇数月に1回開催。今年度は医療連携をテーマとし、医療機関とケアマネジャーが実際に相談できる場とする。	10	90
11	えだびよ	H21	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	乳幼児を持つ親のためにフリースペースを提供し子育て支援を目的とする。	3：養育者及び乳幼児	1：高齢者	毎月第4金曜日に開催。主な対象は0歳児から3歳児を持つ親御さんを中心とし、企業と連携しイベントも開催している。	8	220
12	茶話会	H16	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	自身で地域ケアプラザまで来れる高齢者を対象に介護予防を目的とする。	1：高齢者	5：地域	毎月第3金曜日の午後開催。新年会や不定期で工作会なども開催している。	6	144
13	もちつき	H19	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「男塾」と共催を行い、地域の児童たちにも協力を仰ぎ、地域のつながりの情勢とケアプラザの周知を目的とする。	5：地域	5：地域	12月第3土曜日に実施。男塾の団員がつき手となり、地域の方がたとの交流を行える場としている。	0	0
14	貸館団体交流会	H29	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	登録している貸館団体を対象に、年末に団体間同士の交流を目的とする。	5：地域	5：地域	年末に開催。貸館団体同士のつながりを作ることで、地域の催しごとや、交流を深めるために開催。	0	0
15	えだ家	H26	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	配食ボランティアを通じて、地域の見守り活動を目的とする。	1：高齢者	5：地域	毎週木曜日開催。登録しているボランティアの方がお弁当の調理と、配達を行っている。	19	483
16	ハンドメイドカフェ	R2	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	地域ケアプラザに来館したことがない世代（30代～60代前半）が来館するきっかけづくりや交流および講師として特技を活かし協力意向があった地域住民の育成を目指す。	7：その他		原則毎月第3火曜日13時30分～15時00分講師を招いて、毎回ハンドメイドを楽しみながら交流を図る。	3	20